

行事報告書(研修)

報告者: 樋口和久

行事名	自然観察(植物観察)
実施日時	2023年9月7日(木曜日) 10時～15時15分 天候:晴れ時々曇り(霧雨)
行先・場所	六甲ケーブル山上駅→霧が谷→記念碑台→(昼食)→ミニ講座(宇川順子さん)→レクチュアールルームで六甲山の植物(30分間)を長尾さんによる説明→六甲山ホテルまでの周囲コース→記念碑台
主旨・行程	連日、猛暑が続いているなか、平地より4～5度低い六甲山上で例年とは違った、午前中は少し急な坂がありますが、初めての南斜面の霧が谷コースをゆっくりと自然観察をして歩いてみます。昼食後は会員の宇川さんのミニ講座、レクチュアールルームで長尾さんによる六甲山の植物の説明を受けて、その後何時もの北斜面で説明を受けた植物を実際に観察していきます。
参加人員	MNC 23名、 担当:藤原泰子さん、鹿本郁代さん、森本和子さん……3班に分けての観察
経過・状況	<p>〈六甲ケーブル山上駅から、霧が谷経由記念碑台〉</p> <p>自然観察会専任幹事大原さんの挨拶と、班分けをして、3班に分かれての観察会がスタートした。まず展望台から対面の大阪方面の三山の説明。階段を下り道路際に多く咲くフサフサジウツギのピンクの花、イタドリ白い花、石垣のセンボンヤリの秋の閉鎖花を観察しながら、霧が谷方面に五枚葉のヤブガラシのオレンジ色の花盤、イノコヅチ、樹木ではボダイジュ、ヒメシャラ、タンナサワフタギ、ムラサキシキブ、もう冬芽を用意しているクロモジ、葉の維管束が観察出来るミズキ、キュウリの香りがするイワガラミ、黄色の花を付けた三角状長卵形の三枚葉のノササゲを観察。ツリバナの枝とサワダツの枝の違いの説明もあった。つる性で同じ時季に花を咲かせる、真白い花のセンニンソウ、淡黄色を帯びた白色花のボタンヅルの説明も受けた。ガガイモの花、キツリフネソウの花、白色花、赤色花のゲンノショウコ、黄色のダイコンソウ、ハナタデ、茎から上に伸びたオノドコロの雄花を観察しながら、車道から霧が谷方面の坂道に入った。ここでは、コアカソ、オニグルミ、ムベ、花が葉の下で咲いているマルバハギ、イヌツゲ、丸い花を咲かせたウド、コメナモミ、ヌルデ。</p> <p>此处でサンカクヅルの熟した実をみんなで試食した。(ブドウの様で美味しかった)その後も、紅葉が綺麗なコマユミ、シモツケの残花、満開のホツツジの花、シラキ。イヌザンショウとサンショウの比較をしながら、鋸歯が緑色のクリ、ヤブラン、シュウメイギク、ツリフネソウ、みかんの香りがするミヤマシキミを観察。ツリフネソウの花の蜜を求めて集まったクロマルハナバチとの共生が観察出来た。そこから上り坂になり、イヌガラシ、大きなイヌタデ、お目当てのヤマジノホトギス、メガネツクサを観察してゴールの記念碑台に到着した。</p> <p>〈昼食後の宇川会員によるミニ講座〉</p> <p>宇川さんが旅先で経験した、行動の一部記憶が無くなると言った怪現象と、新型コロナウイルス感染時に市販のキットを購入し、陽性判断をして、市販の漢方薬で完治させたなど、ご自身の体験談を中心としたお話を伺った。</p> <p>〈レクチュアールルームでの長尾さんによる「六甲山の植物」の説明〉</p> <p>六甲山の自然について、植物の種類多さ、気温、降水量、地質、立地条件等について説明された。また生物の特徴や六甲山のスマレ、ツツジ、アジサイ、イチゴについて、問題形式で多くの説明を受けた。つる性植物では、右巻きのクズと左巻きのフジの話では両者が絡むと、どうなるかと考え悩むと、オチは葛藤となるそうです。六甲山に生育する絶滅危惧植物のなかで、ヤマシグレ、テイショウソウ、ヒトツボクロ、ササバギンランを紹介して頂いた。</p>

〈午後の部 六甲山ホテル迄の周囲コース〉

霧雨が降り出して、午後の観察会がスタートした。レクチャー室を出た所にアキグミ、階段下の駐車場横にアジサイの中では花が一番遅く咲くタマアジサイを観察し、山の入り口に、ブナ、葉の一部が白くなっているマタタビと実がついているサルナシを比較観察。葉に特徴があり葉の下に花を付けるバイカツツジ、まだ上向き房状の花が残っているリョウブ。形態がよく似たヤブタバコとシュウブソウの比較。枝が魚の骨っぽいツクバネウツギ、木肌が筋肉隆々なアカシデを観察しながら、道を下って行った。細い道の両側は2年目に両側に斑が入り3年目には枯れてしまうミヤコザザが密生していて、モリアオガエルが産卵に使用する二つ池の近くのミヤコザサの上をよく見るとモリアオガエルの子ども？が多く葉上を移動していた。側ではテーブル状の枝を張り出したタンナサワフタギと短枝が見えるアオハダの比較も出来た。足元のヤマジノホトギスの小さな花を踏みそうになりながら進んで行くと、ノリウツギの木に寄生した複数のカヤラン。ツリガネツツジとバイカツツジが隣どうしに育成しているのでしっかり比較が出来た。山道では、キクバヤマボクチ、まだ花が残っているクサアジサイ、ヤマシグレを見ながら池の側のササバギンランの花跡を確認した。そこからタニソバ、ヤマトウバナ、ヤマグリ、ハナイカダを道沿いに観察して六甲山ホテルに到着し、そのまま記念碑台経由で15時20分発のケーブルに乗車するため足を速めた。15時15分六甲ケーブル山上駅に到着し解散会をして本日の観察会を終えた。



朝の風景



ホツツジ



ツリフネソウとクロマルハナバチ



フサフジウツギにアサギマダラ



モリアオガエル？



みんなで1, 2, 3

まとめ
感想

久しぶりの観察会で暑さを心配していましたが、適温で快適な観察会になりました。この季節、花の咲いている植物は少なかったが、その植物が関連した説明を多く聞けたし、レクチャールームでの植物の説明を受けた後での観察会で説明も一層理解できた様に思いました。中身が濃い観察会で有意義な一日でした。